

日本社会福祉士養成校協会関東甲信越ブロック
日本社会福祉教育学校連盟関東甲信越ブロック
第 10 回 社会福祉士育成推進大会 開催要項

1、趣旨

本大会は、日本社会事業学校連盟（現：一般社団法人日本社会福祉教育学校連盟）が、社会福祉士及び介護福祉士法（昭和 62 年法律第 30 号）を踏まえて行った「社会福祉援助技術現場実習マニュアル（案）」の策定等を契機として、実習教育の一層の充実のために実習施設・機関と養成校とが、配属実習に関する諸条件、実習の在り方等について研究、協議をするための場として 1988（昭和 63）年度からブロック別に開催することとした「社会福祉援助技術現場実習研究協議会」に始まるものです。そして、実習前後の教育、指導体制、実習内容、評価等のあり方について議論が重ねられてきました。

2001（平成 13）年に社団法人（現：一般社団法人）日本社会福祉士養成校協会（「社養協」）が発足してからは両団体の関東甲信越ブロックの事業となり、2005（平成 17）年度に「社会福祉士実習教育推進大会」の名称となり、社会福祉士実習に絞っての大会として運営されてきました。その後の社会福祉士及び介護福祉士法等の一部を改正する法律（平成 19 年法律第 125 号）による養成課程の見直しに伴い、社会福祉士実習においては実習施設・機関との一層の連携のもとでの実習教育の推進が求められています。今大会は名称を「社会福祉士育成推進大会」に変え、実習施設・機関との有機的な連携をはかり、社会福祉士教育のより一層の発展につながればと考えております。

社会福祉士養成にかかわる関係者の皆さま、関心をお持ちの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2、第 10 回大会全体会テーマ

「福祉人材の育成と確保」

近年、我が国では、少子高齢化の進行や世帯構成の変化、国民のライフスタイルの多様化等により、国民の福祉ニーズは多様化、高度化している状況にあり、これらのニーズに対応する福祉人材は、質・量の両面において一層の充実が求められています。

生産年齢人口が減少し、労働力人口も減少が見込まれる一方、近年の景気回復に伴い、他の産業分野における採用意欲も増大するなか、福祉サービス分野においては、高い離職率と相まって常態的に求人募集が行われ、一部の地域や事業所では人手不足が生じているとの指摘もあります。厚生労働省でも若年層から魅力ある分野として評価・選択されるよう、また従事者の定着を図るため労働環境整備の推進など検討しています。

そのため今回は人材育成・確保をメインテーマに据え、社会福祉士の活躍が求められる場や役割について幅広く捉え、また社会の求めに対応できる人材を育てるための教育の在り方について考えます。

3、開催日時

2014年12月6日（土） 10：30～16：00（受付 9：30～）

4、大会会場

アオーレ長岡 市民交流ホール A、B、C、D（〒940-0062 新潟県長岡市大手通 1-4-10）
JR 長岡駅から大手スカイデッキで直結徒歩 3 分
詳細は会場案内図をご覧ください

5、参加予定者

社会福祉士養成校ならびに社会福祉施設・機関関係者、高等学校教職員、学生・大学院生、その他社会福祉士教育に関心のある方。

6、大会参加費

お一人 1,000 円 当日受付にてお支払いください。(学生・大学院生は無料)

7、参加申し込み方法

申し込み用紙に必要事項をご記入の上、2014 年 10 月 31 日(金)までに FAX もしくは E-mail にてお申し込みください。E-mail でお申し込みの場合は日本社会福祉士養成校協会 (<http://www.jascsw.jp/>)あるいは日本社会福祉教育学校連盟 (<http://www.jassw.jp/>)からダウンロードしてお使いください。なお当日申し込みも受け付けます。

(申し込み先) 株式会社ジョブプレイス 新潟市中央区天神 1-1 プラーク 3

Fax : 025-278-3174

E-mail : kanburo2014@gmail.com

8、お問い合わせ先

新潟県立大学 人間生活学部 子ども学科 沼野みえ子

TEL/ FAX : 025-270-1149 E-mail アドレス : numano@unii.ac.jp

なお、アオーレ長岡では、お問い合わせに対応できませんのでご了承ください。

9、主催

日本社会福祉士養成校協会 関東甲信越ブロック

日本社会福祉教育学校連盟 関東甲信越ブロック

10、後援

公益社団法人新潟県社会福祉士会

社会福祉法人新潟県社会福祉協議会

新潟県

新潟市

長岡市

新発田市

11 . 日程

時間	内容
9 : 3 0	受付 市民交流ホール A 入口
1 0 : 3 0	開会挨拶 日本社会福祉士養成校協会 関東甲信越ブロック運営委員長 船水浩行 開催支部代表挨拶 沼野みえ子(新潟県立大学)
1 0 : 4 0	シンポジウム 「福祉人材の育成と確保」 高橋 英樹氏(新潟大学 教授) 渡邊 豊 氏(新潟県社会福祉協議会 福祉人材課長) 高橋 是司氏(社会福祉法人つばめ福祉会 専務理事) 笹川 千尋氏(新潟市民病院 医療福祉相談員) 2025 年問題、地域包括ケアシステムの構築、障害者総合支援法の施行、生活困窮者自立支援法の施行等、矢継ぎ早に対応を迫られる事象がある一方、未曾有の少子高齢化時代となり、福祉現場での、就労希望者の掘り起こしとその人材の育成が急務となっている。それぞれの立場で今何が必要か、今後の展開はどうあるべきか等の提言を行う。

12:30	昼食・休憩 （昼食は各自でご用意ください。）
13:30	分科会 （分科会の希望は～からお選びください） 実習指導者フォローアップ研修 「ソーシャルワーク実習のプログラミングを考える」 「職場実習」「職種実習」「ソーシャルワーク実習」の3段階モデルのうち、相談援助実習の最も核心的な部分でありながら、プログラミングが難しいのが「ソーシャルワーク実習」です。 本分科会では、この「ソーシャルワーク実習」をどのように設定し、学生に学ばせるかに焦点を絞り、実習指導者によるプログラム例の検討を通して、実習内容の充実に向けた経験交流の場とします。 「現場で期待される社会福祉士の役割」 近年において社会福祉課題は多様化、複雑化し、従来の障害・児童・高齢者・貧困分野での社会福祉士への要請はもちろんのこと、それらが複合的に存在する医療分野や、その他二次的に社会福祉課題を抱える分野（教育・司法）においても然りです。これらから多種多様な専門職との連携が重要となり、社会福祉士の専門性、独自性を獲得したアイデンティティの構築が必要です。 本分科会では、今どのような資質を備えた社会福祉士が求められ、いかなる役割が期待されているのか現場の声を聞き、期待像に向けた教育の在り方について議論を深めます。 「人材確保のためのスーパービジョン」 福祉サービス分野の就労実態の指標としてとりあげられることに高い離職率があります。この分野の仕事は、人びとが必要最低限の安心した生活を送るうえで必要とされる一方で、必ずしも若年層の人気職にはなりえていません。この分野で働く決意をしたとしても、その魅力に気づかないまま離職する人もいます。 本分科会では、福祉サービス分野に就職したばかりの若年層に対し、福祉の魅力を伝えたり、就労の悩みの解決を目指すような、「人材確保のためのスーパービジョン」という観点から意見交換し、福祉サービス分野全域において問題とされる、人材確保の課題について検討します。 「専門学校の実習生が抱える不安とその解決策 - こんな時どうする? - 」 専門学校における社会福祉士教育は、通信課程や社会人を対象としているなど様々な形態があります。相談援助実習では、多くの教員が実務経験等を活かして事前指導を行っていますが、実習先で戸惑う学生は少なくありません。 そのように戸惑い「不安」や「悩み」を抱える学生に、どのような支援が必要なのか、実習の事前学習をどう工夫したらよいかなどについて、学生、実習指導者、養成施設をはじめ、社会福祉士教育に携わる関係者でアイデアを出し合い、共有し、協議します。
15:30	休憩
15:45	閉会挨拶 開催支部副代表 中川 兼人（新潟大学） 次期開催県支部代表挨拶
16:00	閉会

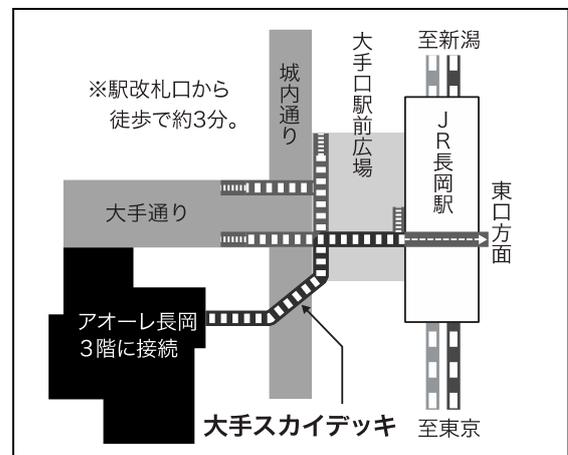
長岡までのアクセス



- およその所要時間
- 高速道路 (長岡 IC)
 - 東京 / 約 2 時間 30 分
 - 新潟 / 約 30 分
 - J R (長岡駅)
 - 東京 / 約 1 時間 30 分 (新幹線)
 - 新潟 / 約 25 分 (新幹線)

アオーレ長岡へのアクセス

JR 長岡駅から徒歩 3 分
 駅の改札口からアオーレ長岡 3 階の
 市民交流ホールやアリーナへ、雨や雪に
 濡れずに直接アクセスできます。

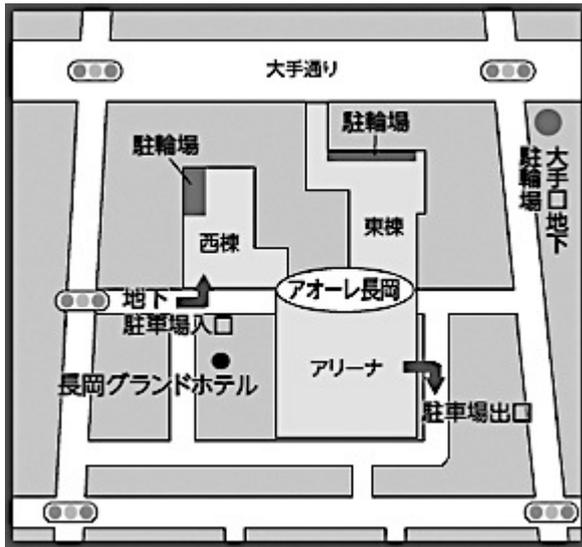


車でお越しの方

長岡インターチェンジから約 20 分 中之島見附インターチェンジから約 30 分

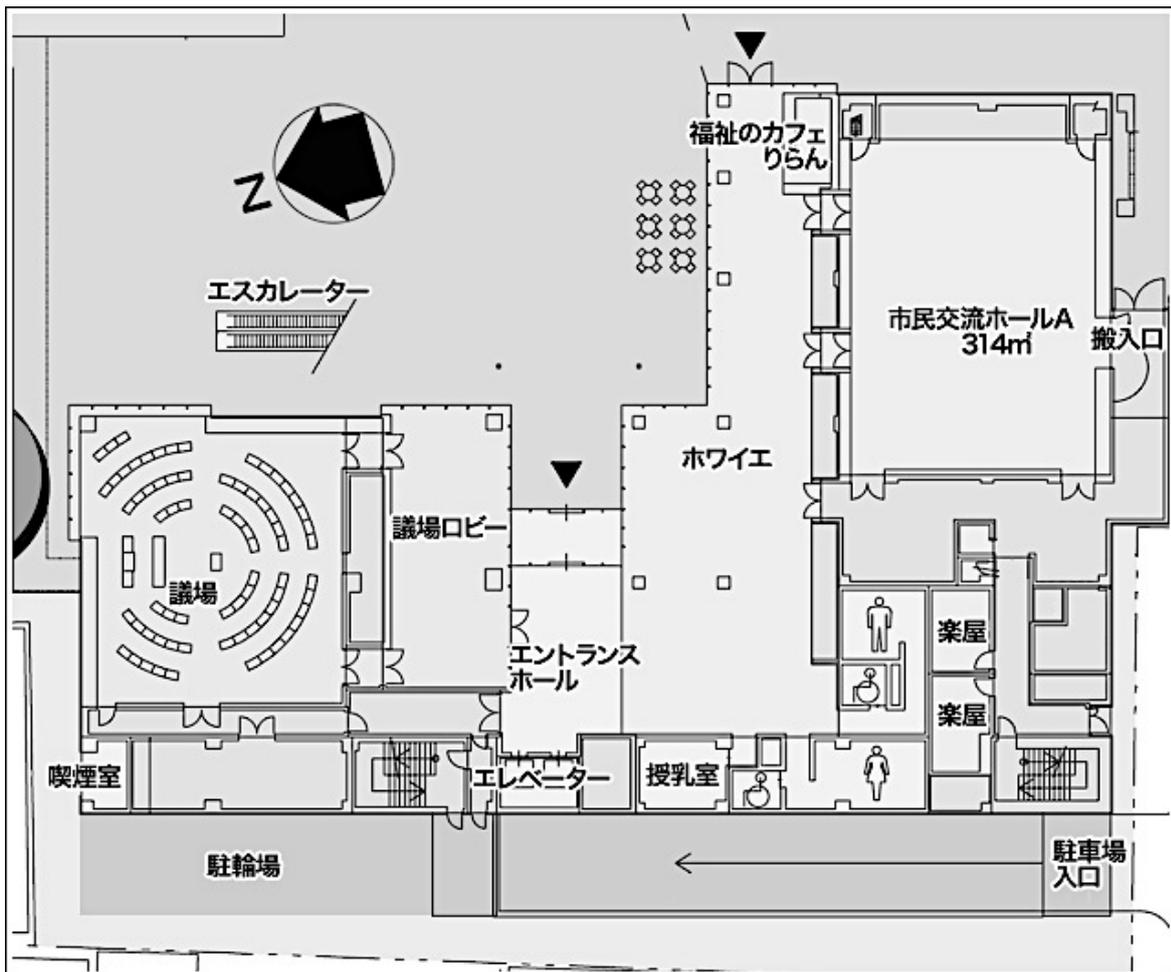


アオーレの駐車場



アオーレの地下に 103 台分の駐車場があります。(うち、身体障害者用 7 台分)
 車両高 2.1m まで
 利用時間 / 午前 7:00 ~ 午後 11:00
 料金 / 30 分 100 円

アオーレ長岡西棟1F (まずは市民交流ホールAにお集まりください)



Fax : 025-278-3174

FAX 送信先 株式会社ジョブプレイス Fax : 025-278-3174

10月31日(金)までにご送信ください。

第10回社会福祉士育成推進大会 参加申込書

参加代表者 (都道府県名:) 申込日 月 日

フリガナ		フリガナ	
所属名		氏名	
連絡先住所	〒		
TEL		e-mail	

参加者(参加代表者も含む)

フリガナ 氏名	職種	参加希望分科会		
		第1希望	第2希望	第3希望

分科会は
第3希望ま
で番号で
お書きくだ
さい。

※分科会人数はこちらで調整させていただきます。なるべくご希望に沿うよう調整いたしますが、必ずしも希望通りにならない場合もあることへのご理解をよろしくお願いいたします。

※欄が足りない場合は、コピーをしてお使いください。

<分科会>

実習指導者フォローアップ研修「ソーシャルワーク実習のプログラミングを考える」

「現場で期待される社会福祉士の役割」

「人材確保のためのスーパービジョン」

「専門学校の実習生が抱える不安とその解決策 - こんな時どうする? - 」

大会参加費 お一人 1,000 円 当日会場にてお支払いください。(※学生・大学院生は無料)

e-mail でお申し込みの場合は <http://www.jascsw.jp/> あるいは <http://www.jassw.jp/> からダウンロードしてお使いください。